

### Ⅲ 必修分野のプログラム

必修分野	内科研修プログラム
研修受け入れ科	呼吸器内科、消化器内科、血液・膠原病・感染症内科、腎臓内科、糖尿病・代謝・内分泌内科、循環器内科、脳神経内科
研修プログラムの概要・特徴	<p>1. 概要 内科研修は、当院の上記内科系診療科7科にて行う。 研修医は、内科研修の場として、これらのいずれかの科を希望できる。各科の定員は定めない。希望者がかたよる場合には総合臨床研修センターで調整を行うことがある。研修医は、これらの科の中から、各自の希望に応じて1ヶ月（4週以上）単位で選択する。 なお、1年目の研修開始直後の4月・5月の研修は、同一の診療科にて行うこととする。</p> <p>2. 特徴 熊本大学病院内科は9の臓器別診療科に分かれており、研修医は自由に研修先を選択できる。 熊大病院群共通のシステムとして、研修医の研修状況は、研修医により研修手帳にも記入されるが、同時に大学内のサーバーにインターネットを通じて入力される。これにより、研修医本人はもちろん、指導医にも、研修状況の随時確認が可能である。 大学病院は臓器別の専門化、細分化が進んでいるが、個々の診療においては総合的な知識と治療手技が求められる。そのため本プログラムは、各科専門領域の知識の習得と基礎的、総合的研修の両立を図っている。</p>
研修の目標	<p>(一般目標) 患者を全人的に診療するために内科領域を中心とした基本的診療能力を修得する。</p> <p>(行動目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 患者家族との良好なコミュニケーションを計れる。 (インフォームド・コンセントを含む)</li> <li>2. 全身の身体所見を的確にとれる。</li> <li>3. 患者の問題点を把握することができる。</li> <li>4. 適切な検査計画を立てることができる。</li> <li>5. 必要に応じて遅れることなく他科へのコンサルテーションができる。</li> <li>6. 適切な診療計画を実施できる。</li> <li>7. 診療記録及び会話文書を遅滞なく記載できる。</li> <li>8. チーム医療を円滑に進めることができる。</li> <li>9. 患者の家族背景、社会的側面に配慮することができる。</li> <li>10. 社会資源地域医療連携を有効に利用することができる。</li> <li>11. 厚生労働省から示された主に内科系の経験目標の達成を目指す。</li> </ol>

研修の方略  
(スケジュール等)

病院全体の合同カンファレンスとして病院カンファレンス、研修医セミナーが定期的開催されている。

各内科で症例カンファレンスが随時開催されているが、それ以外にも以下のようなセミナー・勉強会が開催されている。

**呼吸器内科**：熊本 chests カンファレンス、気管支鏡研修会、熊本気道疾患研究会、熊本肺癌研究会、熊本 Lung Cancer Conference、熊本 Lung Cancer Symposium、免疫関連有害事象対策チーム、Asthma Research in Kumamoto、熊本呼吸器ネット研究会、呼吸器内科緩和ケアチームカンファレンス、呼吸器内科 Respiratory Support Team / **消化器内科**：消化器内科カンファ、熊本肝疾患フォーラム、Hepatitis Forum、Liver Conference in Kumamoto、Liver Conference South&Middle Kyusyu、熊本肝疾患研究会、肝臓栄養療法勉強会、南九州消化器疾患セミナー、IBD セミナー / **血液・膠原病・感染症内科**：血液・感染症コロキウム、熊本膠原病リウマチ診療カンファレンス、血液形態診断学、熊本骨髓移植研究会、リンフォーマ井戸端会議 / **腎臓内科**：熊本腎病理カンファレンス、透析カンファレンス、熊本腎疾患研究会 / **糖尿病・代謝・内分泌内科**：熊本内分泌代謝疾患研究会、熊本分子病態研究会、熊本糖尿病フォーラム、熊本代謝疾患症例検討会 / **循環器内科**：熊本心血管総合カンファレンス (Kumamoto Total Cardiovascular Conference)、熊本 PCI 研究会、Young Intervention Forum、熊本肺高血圧寺子屋セミナー、Kumamoto Heart Failure Network / **脳神経内科**：熊本神経カンファレンス、熊本脳血管障害研究会、熊本神経難病研究会、熊本神経超音波研究会、神経難病診療体制構築事業講演会など

本院で行われている主な検査、治療は以下のとおり

**呼吸器内科**：気管支内視鏡・経気管支肺生検・気管支肺胞洗浄、超音波気管支鏡ガイド下生検、呼気ガスNO濃度、睡眠ポリグラフィ、胸腔ドレナージ・胸膜癒着術、人工呼吸管理・Recruitment manuver、鼻CPAP療法、NPPV療法、Mostgraph、換気応答、PMX-DHP療法、全肺洗浄 / **消化器内科**：消化管内視鏡、カプセル内視鏡、腹部エコー、超音波内視鏡、肝生検、腫瘍生検、経皮的エタノール注入療法、経皮的ラジオ波熱凝固療法、腹部血管造影検査、肝動脈カテーテル療法（肝動脈化学塞栓療法、肝動脈化学療法）、内視鏡的粘膜切除術、内視鏡的粘膜下層剥離術、内視鏡的硬化療法、内視鏡的結紮術 / **血液・膠原病・感染症内科**：骨髄穿刺、骨髄生検、血液標本特殊染色、無菌室における化学療法、HLA適合血縁者ドナーからの同種造血幹細胞移植、自家末梢血幹細胞採取、自家末梢血幹細胞移植、抗リウマチ薬・生物学的製剤による関節リウマチ治療、ステロイド・免疫抑制剤治療、多剤併用による抗HIV治療 / **腎臓内科**：血液浄化療法、腹膜透析、腎生検、内シャント作製術、腹膜透析カテーテル挿入術、経皮的内シャント拡張術 / **糖尿病・代謝・内分泌内科**：頸動脈エコー、甲状腺エコー、甲状腺穿刺吸引細胞診、内分泌関連負荷試験、人工膵島、インスリン頻回注射療法、インスリン持続皮下注射療法 / **循環器内科**：心臓カテーテル検査、心臓CT、心臓MRI、心内心電図3Dマッピング、冠動脈インターベンション、高周波カテーテルアブレーション、心内シャントスタディー、心エコー、経食道心エコー、トレッドミル負荷心電図検査、電気生理学的検査、ホルター心電図、24時間連続血圧検査、心臓核医学検査、ペースメーカー植え込み術、ICD植え込み術、心臓再同期療法(CRT)、心筋生検、心臓リハビリ / **脳神経内科**：腰椎穿刺、筋生検、神経生検、頸部血管エコー、経食道心エコー、脳血管造影検査、神経伝導検査、針筋電図、自律神経機能検査 など

これらのカンファレンス、勉強会、手技、検査、治療への参加を通じて、研修目標の総合的な習得を目指す。

なお、各科の週間スケジュール等の詳細は各科のホームページ等を参照されたい。

<p>研修の評価</p>	<p>研修医は、ローテーション先の各診療科で、厚生労働省が定めた経験目標、行動目標の達成度評価のため、EPOCを用いた評価を受ける。</p>
<p>研修実施責任者</p>	<p>○呼吸器内科長 : 坂上 拓郎  ○消化器内科長 : 田中 靖人  ○血液内科長、膠原病内科長、感染免疫診療部長 : 松岡 雅雄  ○腎臓内科長 : 向山 政志  ○糖尿病・代謝・内分泌内科長 : 荒木 栄一  ○循環器内科長 : 辻田 賢一  ○脳神経内科特任教授 : 植田 光晴</p>
<p>研修指導責任者 (指導医)</p>	<p>○呼吸器内科 : (正) 一安 秀範 (副) 佐伯 祥  ○消化器内科 : (正) 立山 雅邦 (副) 宮本 英明  ○血液・膠原病・感染症内科 : (正) 立津 央 (副) 徳永 賢治  ○腎臓内科 : (正) 安達 政隆 (副) 栞原 孝成  ○糖尿病・代謝・内分泌内科 : (正) 河島 淳司 (副) 井形 元維  ○循環器内科 : (正) 荒木 智 (副) 有馬 勇一郎  ○脳神経内科 : (正) 三隅 洋平 (副) 増田 曜章</p>
<p>その他特記事項</p>	<p>なし</p>